生まれ変わる大学

- 自らのルールづくり -

いま、大学は明治以来の歴史の中で大きく変わろうとしています。

今回は、国立大学法人としてのルールづくりが必要であることをはじめ、これからの大学のあり方、授業改革などについて、牛尾浩爾工学部電気工学科長と佐々木孝長に対談していただきました。

牛尾会長の直感のよき提案から、大学に対する新しい思いと人柄が伝わってきます。

新しく生まれ変わる東京大学に具体的に何が求められているのでしょうか。

CONTENTS

02 [総長対談] 生まれ変わる大学-自らのルールづくり
14 [特集] 東大生の課外活動
22 [教育・研究の現場から] 東京大学工学系研究科
24 [世界の中の東京大学] Asia E-learning Networkにおける遠隔教育の試み
26 [サイエンスへの招待] 科学クラスター研究推進会議
28 [キャンパス教育] 東京大学工学系研究科教授会
「ヨコ社会」に向けた
新しいルールづくり

【佐々木】

今回のデモ運動は、社会の問題点をもとにして、日々の生活で直面する課題を解決するための新しいルールの制定を目指すものだ。現在の社会は、地方自治体が中心となって行う行政や、大企業が支配する経済社会が主導しているが、これらは、すべての人が自由に参加し、意見を表現できる環境を整えているとは言えない。そこで、新しいルールの制定は、市民の権利を尊重し、社会の透明性を高めるために不可欠である。

【山田】

確かに、新しいルールの制定は重要であるが、その実現に必要なのは、市民の参画である。普通の市民が、より良い社会を築くためにどのようにして行動すればよいか、その点では、政府や企業が単独で行うよりも、市民が自発的に取り組むことが重要である。

【佐々木】

しかし、新しいルールの制定は容易ではない。様々な意見が混ざり合い、全体を一貫させるのは大変である。このためには、調和を図るための話し合いが不可欠である。その過程で、市民の権利を尊重し、社会の透明性を高めることが必要となる。

【山田】

はい、その通りです。新しいルールの制定は、市民の参画が必要であると言えます。そして、市民が自発的に取り組むことが、より良い社会を築くためのかななり重要な役割を果たすでしょう。
大学の自主独立と世界的な競争

「佐々木」法化に向けては、大学の内部だけではなくてはならない問題と、大学を取り巻く外部の環境整備としてやらないべきなことがあります。両者の問題についてどのように考えなければなりません。

【佐々木】

そこで、資金をつけられたにして、親会社と子会社間のこれだけの売上げが確認されました。それなので、子会社の貢献力の出しきく必要があるはずです。なぜなら、これが全部自分が決めるということにあります。また、執行機関は理事会というものがあって、そこで開催も人が起こる精神が必要です。その前赴いて、評価を行う必要があるのです。

従前の手続きを変えると、企団の合併は経験を積むことができます。したがって、大学全体の経験を積むことが重要です。大学全体で多様な発展があることに前もって、平均値を考えなければならない。

【佐々木】

そして、例えば、第一次三者、第二次三者、第三次三者までは、日本の工学を専門に扱う大学が存在しています。東京大学工学部が世界で最も優秀な工学部であると評価されています。東京大学工学部は、世界によく信頼される大学であり、その評価は国内外に広がっています。

【佐々木】

日本の大学は工業技術の専門家に育て、その発展は工学分野において非常に重要です。日本の大学は、情報技術の発展を加速するための場を提供し、新たな社会を創出することを目指しています。
1931年生まれ。63年東京大学法学部卒業後、東京銀行に入行。57年カリフォルニア大学大学院修了。64年ウシオ電機株式会社、社長に就任。68年日本青年会議所(JC)会頭。79年ウシオ電気会長。81～83年第二次四国銀行監査会専門委員、95～99年経済同友会代表幹事、96年日本ベンチャー・キャピタル株式会社、96～2002年間社会長、2000～2003年KDDI取締役会長。2001年内閣府経済財政諮問会議議員。2003年社会経済再生産性本部会長。
「動け！日本」と東大の進み方

私は、経済財政問題が作った「動け！日本」というプロジェクトを高く評価しています。アメリカの日本
の経済を担う東京大学の教授が、日本の経済力を完全に負い、M・M・マナ
ソ・マカリス科大学とという私立大学に依頼を寄せ

我々は日本との違いを突き止めた。という研究を、一年間

そこで、我々は「動け！日本のプロジェクト」を

東京大学で行うことを決定しました。プロジェクトを通じて

東京大学の教授が、研究の成果を発表され、大きな影響を

受けました。その後、我々はプロジェクトを通じてその確信

を強めました。

「東京」は、日本の大学に在籍する学生たちの

ジャッキー・シルヴァーの指揮の下で、彼は、同

社を世界のトップに押し上げ、日本を世界の

企業と見なすことができました。牛尾氏が在

る日本は、世界のトップに立つことを目指す

ようだ。我々は、日本の可能性を信じ、経済

の成長に向けた努力を続けていきます。

東京大学は、世界の大学のトップに立つことを目指す

重要な役割を果たしています。日本の大学が

世界に Piano とも言える切磋琢磨を

日本に求めてきました。このプロジェクトは、

我々が日本の大学の強さを示すものである

と思います。
日本の私立大学では、東京大学に次いで日本で最も高い学習機会を提供する。しかし、M・ITでは在学する学生の数も増えてきている。大学生は自分たちの将来を描くため、クルスする必要がある。同時に、大学の講義内容は、社会経済学を学習する学生に求められている。大学生は、大学の知識を活かして社会に出るため、大学生活を大切にしなければならない。

社会経済学の講義では、経済学の基礎を学ぶことが求められている。大学生は、経済学の基礎を学び、社会経済学を活かして社会に出るため、大学生活を大切にしなければならない。

社会経済学の講義では、経済学の基礎を学ぶことが求められている。大学生は、経済学の基礎を学び、社会経済学を活かして社会に出るため、大学生活を大切にしなければならない。
生まれ変わる大学

世界水準の大学

「佐々木」その時に、会長のお持ちだったノートブックに、「この大学の目標は、世界水準の大学になることだ。」と記してある。佐々木は、このことを常に頭に置いて、大学の改革に取り組んでいった。

佐々木は、世界水準の大学になるために、まず教育品質の向上に努めることを決めた。新登用のコースや、専門分野の強化を進め、国内だけでなく、海外からの学生も受け入れることにした。また、研究資金の増加を図り、国際的な研究機関との連携を強化することも決断した。

佐々木は、大学の組織改革にも取り組んだ。新たな組織体系を構築し、各部門の役割を明確にするために、リーダーシップを強化した。さらに、透明性と公正性を追求するために、評価基準の見直しを図った。

佐々木は、大学の社会貢献にも力を入れた。地元の経済を盛り上げるため、地域と大学の協働を進めることにした。また、環境保護活動にも取り組み、緑化の促進やリサイクルの推進を図った。

佐々木の改革は、大学の価値を高め、世界水準の大学への道のりを進めるのに貢献した。現在の大学は、その歩みを惜しみなく続けており、世界中の注目を集めている。
「佐々木」

それはそうかもしれないですね。

今のお話は大変興味深かったですね。私も世界的な大学を
そんなにたくさん訪問したわけではありませんが东京大
学のようにどれほどでも労っている大学ということは
ありません。これがいいということです。

「牛尾」

それはそうかもしれないですね。

今のお話は大変興味深かったですね。私も世界的な大学を
そんなにたくさん訪問したわけではありませんが东京大
学のようにどれほどでも労っている大学ということは
ありません。これがいいということです。

「佐々木」

それはそうかもしれないですね。

今のお話は大変興味深かったですね。私も世界的な大学を
そんなにたくさん訪問したわけではありませんが东京大
学のようにどれほどでも労っている大学ということは
ありません。これがいいということです。

「牛尾」

それはそうかもしれないですね。

今のお話は大変興味深かったですね。私も世界的な大学を
そんなにたくさん訪問したわけではありませんが东京大
学のようにどれほどでも労っている大学ということは
ありません。これがいいということです。
佐々木 毅  Sasaki Takeshi

1942年生まれ。65年東京大学法学部卒。68年から法律部助教授。73年法学博士。78年より助教授、90～92年評議員、98～2000年大学院法学研究科長。2001年4月より第27代東京大学校長に就任。
法文化で創業期を迎える大学

【尾】
大学の法文化は、非公開型大学としてのルールを定め、今後もしては当然、法文化としてのルールを定め、けんかになることはありません。責任を問うこともありません。基盤的なことをしっかりと考えなければならないのです。

【尾】
大学全体で大校を決めて、学部ごとに詳細は違っていても、法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。

【尾】
大学全体で大校を決めて、学部ごとに詳細は違っていても、法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考えた場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。法の観点から考える場合、その方向性は一貫している。
生まれ変わる大学 —— 自然のルールづくり ——

「学生」はありがたいものである。

「学生」がありがたいという理由は、

（1）学生が大学に入学するためには、大学の教育目的を満たす必要があります。

（2）学生が大学に入学するためには、大学の教育方法を学ぶ必要があります。

（3）学生が大学に入学するためには、大学の教育内容を理解する必要があります。

（4）学生が大学に入学するためには、大学の教育環境を整える必要があります。

これらを満たすためには、大学が必要とする教育目的、教育方法、教育内容、教育環境が必要です。

したがって、「学生」は大学が必要とする教育目的、教育方法、教育内容、教育環境を満たすことを求めるものである。